

【報道関係者各位】

平成18年12月6日
株式会社IMJモバイル
東京都品川区西五反田2-28-5
代表取締役社長 廣田 武仁

携帯電話のサイト検索に関する利用実態調査

～携帯キャリア各社が検索エンジンを導入、携帯サイト閲覧にどのような影響があるのか？～
今後、検索エンジンの利用が増える 45%
最も利用頻度の高い検索サイトは Yahoo!モバイル 76%

株式会社アイ・エム・ジェイ（本社：東京都品川区 代表取締役社長：榎野 孝人）のグループ会社である株式会社IMJモバイル（本社：東京都品川区 代表取締役社長：廣田 武仁 以下、IMJM）と調査会社の株式会社ユーティル（本社：東京都千代田区 代表取締役：宇田川 信雄）は、「携帯電話のサイト検索に関する利用実態調査」を実施いたしました。

調査期間は2006年11月20日（月）～11月22日（水）、有効回答数は1218名から得られました。

【調査結果概要】

【1】携帯サイトの利用（閲覧）頻度、「週に1回以上」50%

携帯サイトの利用頻度は、「週1回以上の利用」が50%でした。利用頻度は、若年層ほど高く、高校生の23%以上が「週20回以上の利用」と回答。「週1回以上の利用」では、大学生（短大生・専門学校生を含む）の70%が最も高く、高校生が66%、20代社会人63%となった。

【2】今後「検索サイトの利用が増える」45%

携帯サイトを探すときに「メニューリスト」と「検索サイト」では、「メニューリスト」の利用が54%と半分以上となった。逆に、「携帯の検索サイト」の利用は15%に止まった。

しかし、今後の利用意向では45%が「検索サイトの利用が増える」と回答した。これは、携帯キャリア各社が検索エンジンを公式に採用したことが起因していると推測できます。

【3】知っている携帯の検索サイト「Yahoo!モバイル」76%、最も使っている携帯の検索サイト「Yahoo!モバイル」50%

携帯の検索サイトの認知率では「Yahoo!モバイル」がトップの76%、次いで「Googleモバイル」49%。最も利用頻度の高い検索サイトでも「Yahoo!モバイル」がトップの50%、次いで、「Googleモバイル」21%となりました。PCでの高いブランド力と携帯キャリアでの正式採用が寄与していると推測できます。

【4】携帯サイトの検索結果は89%が上位10番目までしか閲覧しない

検索サイトでの検索結果では、67%が上位5番目までしかサイトを閲覧しないと回答。10番目以内の閲覧では89%に達する。サイトの種類にもよるが、サイト運営者はPCのサイトと同様に、SEO・SEM対策が必要になることが予想されます。

「携帯電話のサイト検索に関する利用実態調査」

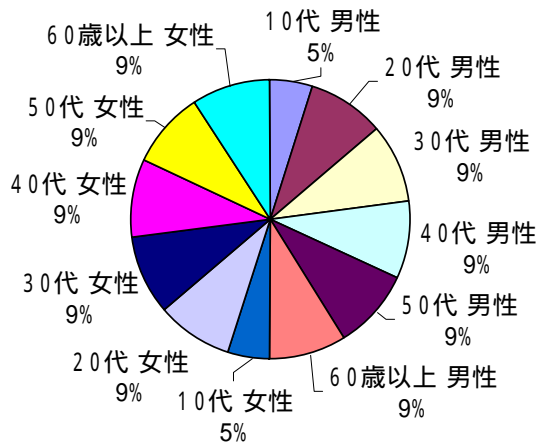
【調査結果詳細】

調査概要

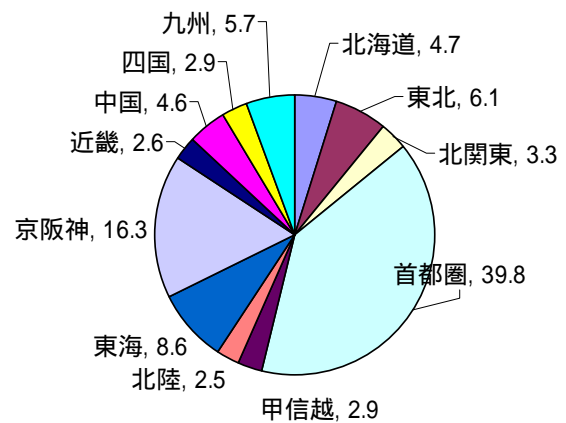
- ・調査方法： インターネットリサーチ
- ・調査地域： 全国
- ・調査対象： 15歳以上、男女のBIGLOBE調査モニタ
- ・有効回答数： 1218サンプル
- ・調査日時： 2006年11月20日(月)～2006年11月23日(水)
- ・調査機関： 株式会社ユーティル

回答者プロフィール

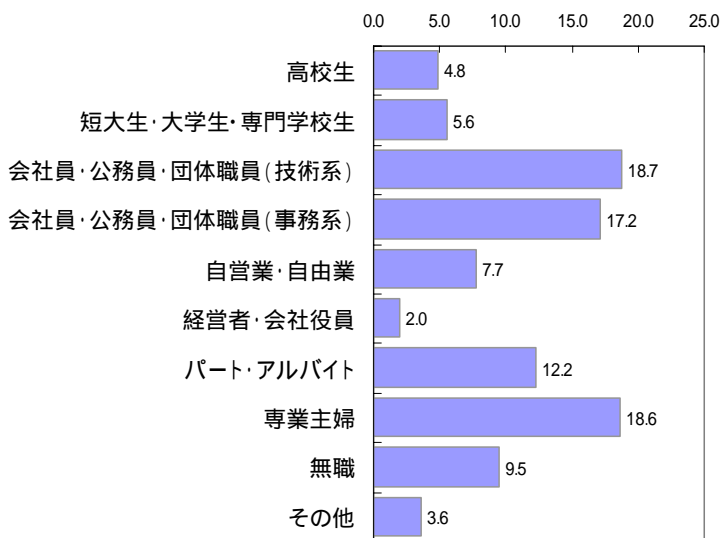
性・年代別 (n=1218)



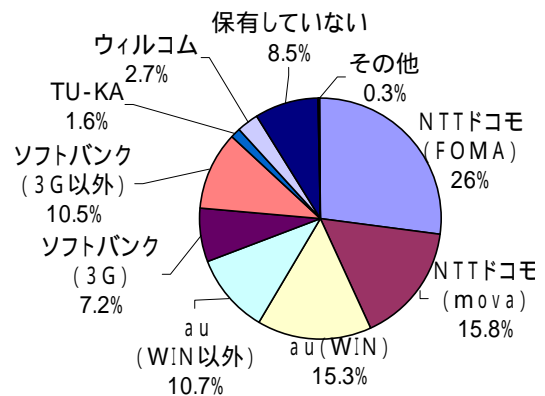
居住地域 (n = 1218)



職業 (n = 1218)



保有携帯キャリア (n = 1218)



**携帯サイトの利用頻度「週に1回以上」50%、
まったく利用（閲覧）しない「25%」**

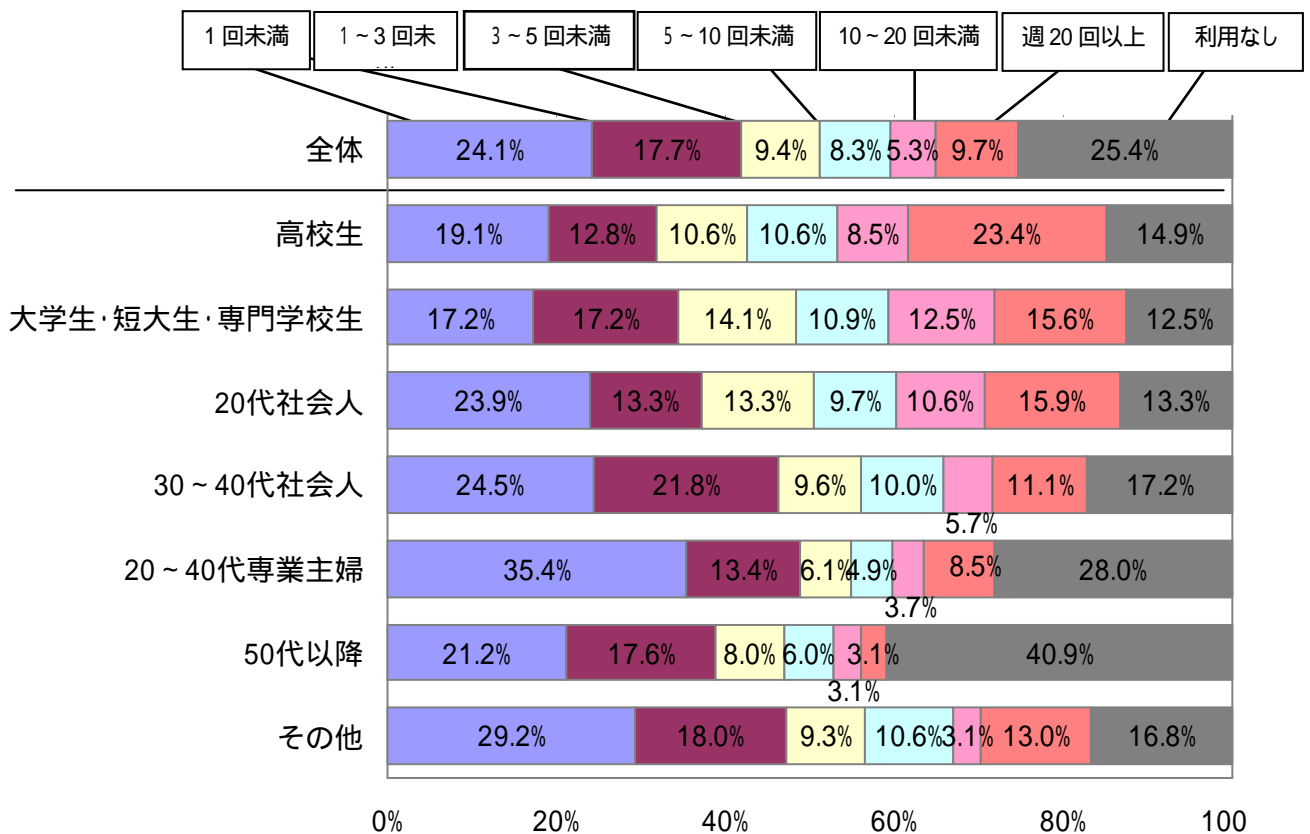
携帯サイトをどのくらいの頻度で利用（閲覧）しているか尋ねたところ、「まったく利用していない」が25%で最も高く、次いで「週1回未満」が24%と回答しました。

属性別で、高校生は「週20回以上の利用」23%が最も多く、4割以上が週5回以上利用している。高校生にとって、携帯サイトが身近で高接触なメディアであることがわかります。また、世代が上がるほど利用頻度が低下する傾向があり、50代以降では「まったく利用しない」と回答が40%となりました。

全体としては、50%以上が週1回以上は携帯サイトの利用があり、まったく利用しない人は25%に止まりました。

Q. あなたは普段、どれくらいの頻度で携帯のサイトを利用（閲覧）していますか？以下の選択肢の中から最も近いものをひとつだけお選び下さい。（単一回答）

【n = 1114 携帯保有者】



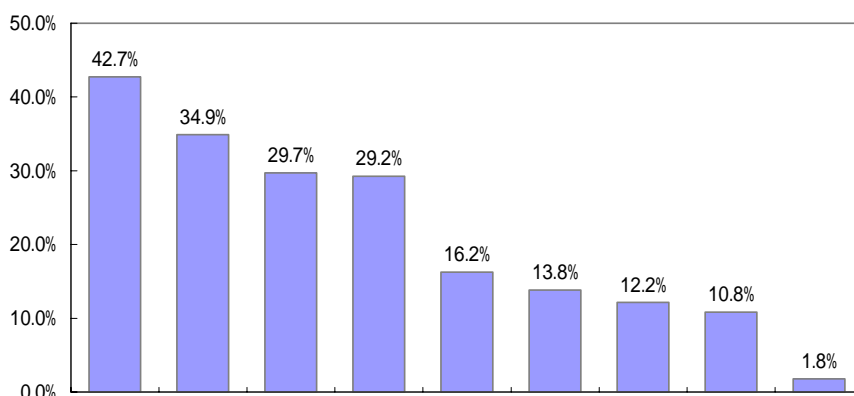
大学生・短大生・専門学校生における携帯サイト閲覧のきっかけは「携帯の検索サイト」52%でトップ

携帯サイトの閲覧のきっかけを尋ねたところ、1位が「携帯のメニューリスト」42%、2位が「パソコン」35%、3位が「携帯の検索サイト」30%と回答しました。

高校生・大学生（短大生・専門学校生を含む）では、「メニューリスト」に次いで、「検索サイト」、「友人・知人のクチコミ」の順で高い。「友人や知人のクチコミ」をきっかけとする人が多いというのは、SNSやブログの利用が大きく関与しているのではないかと推測します。

Q.あなたが携帯サイトを利用（閲覧）する最初のきっかけは何ですか？ここ最近で、あてはまるもの全てお選びください。（複数回答）

【n = 831 携帯サイト利用者】



	Total (N)	携帯のメニューリストから	パソコンから	携帯の検索サイトから	メールマガジンから	友人・知人からのクチコミ	店頭POPや案内カード・チラシから	雑誌・新聞から	テレビ番組・ラジオ番組から	その他
全体	831	42.7%	34.9%	29.7%	29.2%	16.2%	13.8%	12.2%	10.8%	1.8%
職業別										
高校生	40	52.5%	45.0%	45.0%	40.0%	42.5%	12.5%	15.0%	32.5%	2.5%
大学生・短大生・専門学校生	56	50.0%	35.7%	51.8%	33.9%	30.4%	8.9%	16.1%	12.5%	3.6%
20代社会人	98	39.8%	27.6%	31.6%	31.6%	17.3%	22.4%	20.4%	13.3%	3.1%
30～40代社会人	216	46.8%	34.3%	26.4%	28.7%	10.2%	11.1%	14.8%	7.4%	1.9%
20～40代専業主婦	59	39.0%	39.0%	33.9%	37.3%	11.9%	18.6%	6.8%	13.6%	0.0%
50代以降	228	37.3%	35.5%	23.2%	19.7%	18.4%	11.4%	8.3%	8.3%	1.3%
その他	134	43.3%	35.1%	29.1%	35.8%	9.7%	16.4%	8.2%	10.4%	1.5%

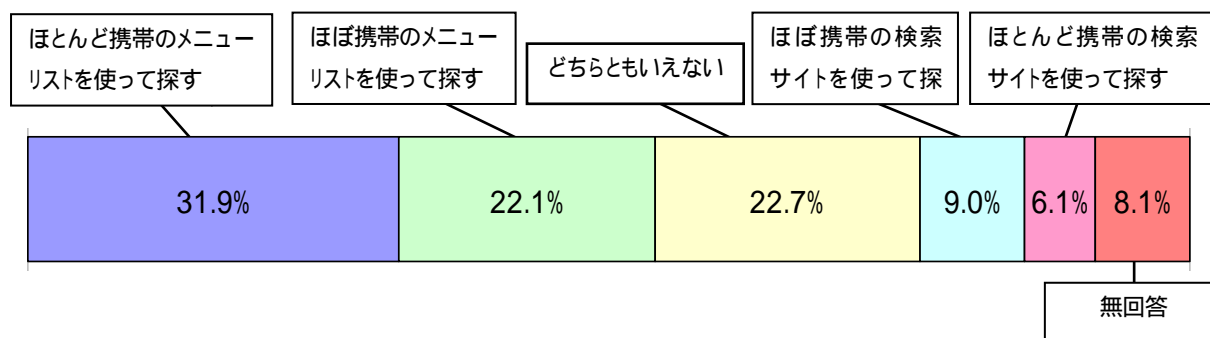
目当ての携帯サイトを探す方法は「携帯のメニューリスト」54%
 今後は、「検索サイトの利用が増える」45%

目当ての携帯サイトを探す方法を尋ねたところ、「ほとんど携帯のメニューリストを使う」32%、「ほぼ携帯のメニューリストを使う」22%、合計54%が「携帯のメニューリスト」を使うと回答しました。「携帯の検索サイト」を使うと回答した人は15%に止まりました。

次に、今後、目当ての携帯サイトを探す方法として検索サイトの利用が増えるか尋ねたところ「増えると思う」22%、「やや増えると思う」23%、合計45%が検索サイトの利用が増えると回答しました。

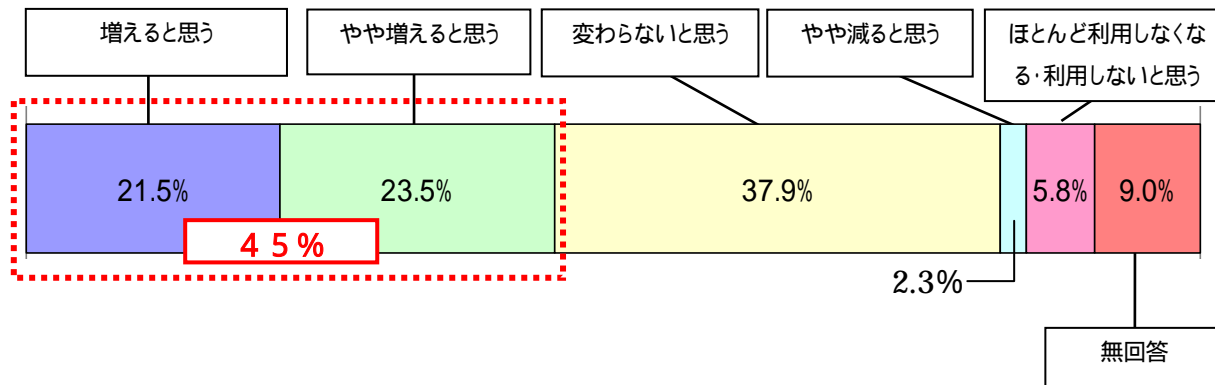
Q.あなたは、どのように目当ての携帯サイトを探していますか？ここ最近についてひとつだけお選びください。（単一回答）

【n = 831 携帯サイト利用者】



Q.あなたは今後、目当ての携帯サイトを探す方法として、検索サイトの利用が増えると思いますか。（単一回答）

【n = 831 携帯サイト利用者】



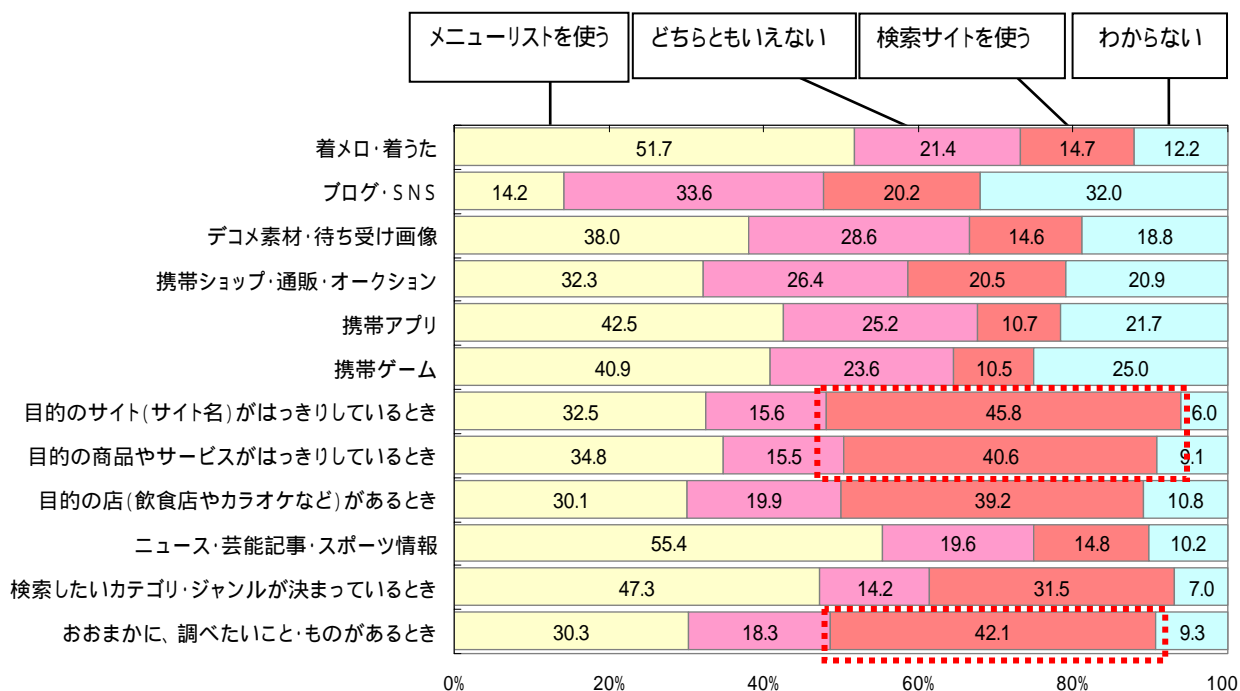
携帯で検索サイト利用の1位は「目的のサイトがはっきりしているとき」 次いで、「目的の商品やサービスがはっきりしているとき」

携帯サイトを探するとき、検索サイトを使うのは、1位が「目的のサイト(サイト名)がはっきりしているとき」47%、2位が「おおまかに、調べたいこと・ものがあるとき」42%、3位が「目的の商品やサービスがはっきりしているとき」41%でした。

また、メニューリストを使うのは、1位が「ニュース・芸能記事・スポーツ情報」55%、2位が「着メロ・着うた」52%、3位が「検索したいカテゴリ・ジャンルが決まっているとき」47%でした。

Q. あなたは携帯サイトを探するとき、メニューリストと検索サイトのどちらを使いますか? 以下のそれぞれの項目についてひとつだけお選びください。(単一回答)

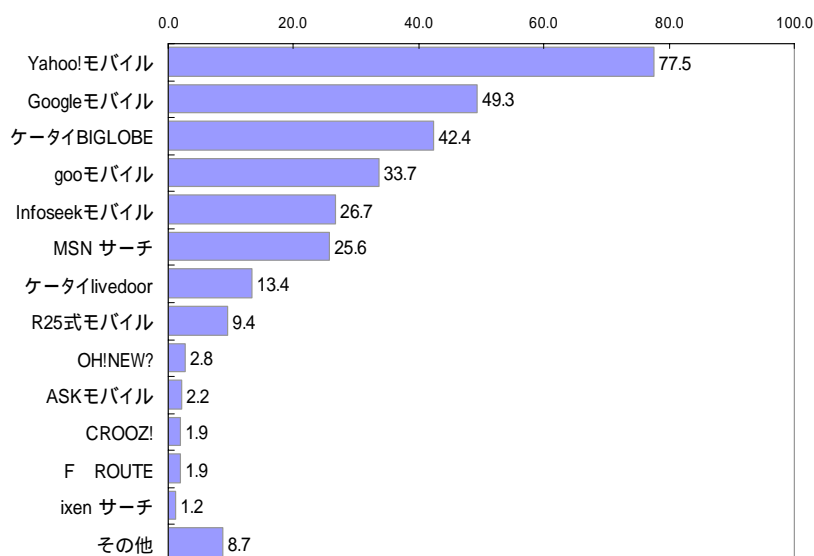
【n = 831 携帯サイト利用者】



知っている携帯の検索サイト、最も利用頻度の高い携帯の検索サイト いずれも1位は「Yahoo!モバイル」、次いで「Googleモバイル」

携帯の検索サイトの認知率と利用実態を尋ねたところ、認知・利用ともに1位「Yahoo!モバイル」、2位が「Googleモバイル」となりました。PCの検索利用と同様に、携帯の検索サイトにおいてもYahoo!とGoogleの人気が高いことが伺えました。

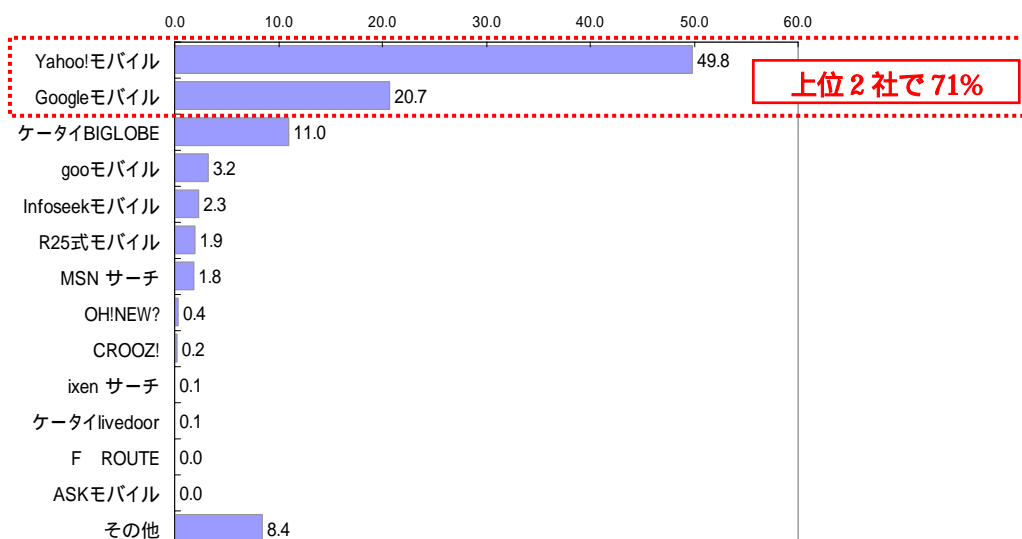
Q. 携帯の検索サイトで、あなたをご存知の検索サイトを全てお選びください。（複数回答）
【n = 831 携帯サイト利用者】



調査対象者がBIGLOBE会員のため、ケータイBIGLOBE認知率に若干の影響がある可能性があります。

Q. あなたが普段、よく使う携帯の検索サイトは次のうちどれですか？最も利用頻度の高い検索サイトをひとつお選びください。（単一回答）

【n = 831 携帯サイト利用者】



調査対象者がBIGLOBE会員のため、ケータイBIGLOBE利用率に若干の影響がある可能性があります。

**携帯でサイト検索をするときの単語数、「2個」49%
検索サイトでの検索結果は上位10個まで閲覧 89%**

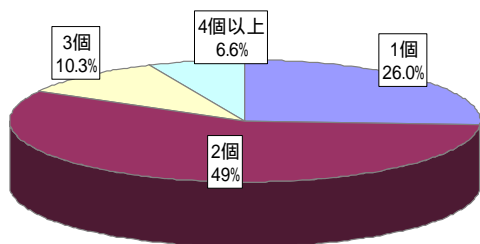
まず、携帯でサイト検索するときの検索ワード数は、平均「2個」49%、「1個」26%となりました。多いときで「3個」39%、「1~2個」28%でした。

また、携帯サイトを探るとき、上位何番目まで検索結果の閲覧をするか尋ねたところ、メニューリストと検索サイト共に「4~5番目まで」が最も多く、「メニューリスト」34%、検索サイト「4~5番目まで」32%となりました。11番目以上閲覧すると答えたのは、「メニューリスト」7%、「検索サイト」11%に止まりました。このことから、メニューリストや検索サイトでサイトを探す人の約9割が、検索結果の1~3ページ以内にあるコンテンツを利用していると推測されます。

Q. あなたは、携帯の検索サイトを使うとき、いくつくらいの単語（複数の単語）で検索をしますか？（例えば、『アイドル』と『着メロ』で単語が2個になります）また、検索に使う単語は平均、何文字くらいまで入力しますか？（個数を自由回答）

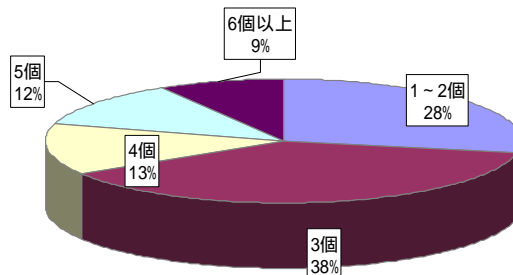
平均の単語数

【有効回答：n = 715】

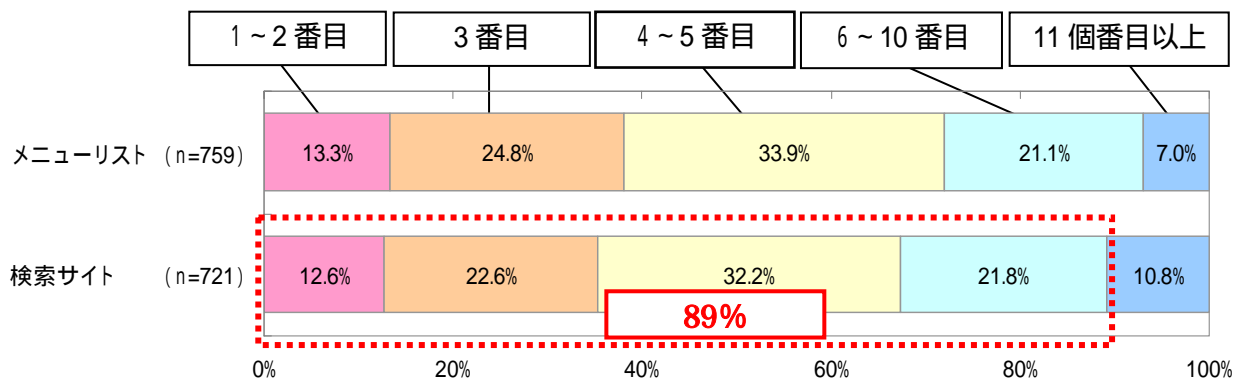


多いときの単語数

【有効回答：n = 713】



Q. あなたは、携帯の検索サイトやメニューリストで携帯サイトを探すとき、検索結果の上位何番目くらいまで閲覧しますか？（個数を自由回答）



【株式会社IMJモバイル 会社概要】

株式会社IMJモバイルは、携帯に関する調査・診断・企画・開発・制作・運用に関する豊富なノウハウにより、携帯のB to B及び、B to Cサイトを提供しており、公式サイト 200 サイト以上の開発・運用、携帯キャンペーン 200 案件以上の実績を保有しております。

現在では、コマース事業、サイト調査・診断事業、QRコード、フェリカ、ICタグ関連の技術開発及びソリューションの提供を多くの企業様に提供しております。

社名	株式会社IMJモバイル
本社	東京都品川区西五反田 2 - 2 8 - 5 第2オークラビル
URL	http://www.imjmobile.co.jp/
設立	2000年7月18日
資本金	2億9428万7500円(2006年10月現在)
従業員数	160人(2006年10月現在)
	IMJグループモバイル関連事業会社 5社 350人
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯公式サイト企画・運営事業 ・携帯メディア、広告事業 ・携帯サイト構築・運営代行業業 ・携帯ソリューション事業、等

< 本件に関するお問合せ先 >

株式会社 IMJ モバイル <http://www.imjmobile.co.jp/>

本件に関するお問合せ先

事業企画本部 担当：森 直樹 TEL：03-5759-0188 E-mail：n-mori@imjmobile.co.jp

報道関係者のお問合せ先

広報 IR グループ 担当：漆坂 TEL：03-5759-0177 E-mail：press@imjmobile.co.jp